

自己実現への道

第49回 ー第2章「積極思考」をする者は山をも動かす(その5)ー

●正しい判断とは？

健康な心は正常で、病める心は異常である。この基本的な価値判断が正しいことには議論をさしはさむ余地がない。不信は病であり、懷疑ほど危険なものはない。不信・懷疑は数え切れないほど沢山の心の悪魔を生み、悪魔どもはあなたの健やかな心をさんざん蝕み、絶望という病原菌を体中に拡散させる。消極的な思考態度に陥ると、あなたはたちまち、伝染性の精神疾患に冒され、また同時に憂鬱症の保菌者になる。子供は踊ったり、笑ったり、遊んだりするのが正常である。子供がしおれたり、引っ込み思案になったり、ひとりぼっちで拗ねていたりするのは普通ではない。朗らかで人なつっこいのが正常である。

■大切なのは信じることだ

明るい可能性を素直な心で信じ、美しい夢を見ることこそ、世の中を良い方向に向かわせる原動力となるのだ。これこそが真理である。この偉大なる真理に対して疑いを持っている限り、その人は人生の価値を知らないといえよう。真理を知るように努力しよう。そうすれば人生は大きく変わってくる。

■調和のとれた自己成長のために・・

精神病学者のエリック・バーンは、その著書『人間ゲーム』の中で、人間の心の中に存在する3つの自我について述べている。それは両親的自我、幼兒的自我、成人的自我と言われている。人は1個の人格から成り立っているのではなく、これらの人格が統合されて一つの人格が成立している。心が健全であれば、強力な磁石のような統合力が働いて、バラバラに孤立し分裂している自我を一体に保ってくれる。現代人はストレスに苦しんでいるが、あらゆるストレスを乗り越えていく最善の方法は、「**信じること**」である。

シュラーは・・ 「**神を信じる者は、その心を強く支配する磁力をより多く使って自分を保とうとする。この力こそ、信念の力であり、活力の源泉である**」と述べている。

■常に、今この瞬間を出発点にしよう

新しい年を迎えるごとに、本当の意味の楽天主義者になろうという誓いを立てよう。もう一度、出直して、新しい人生を築こう。常に、今を出発点にすればよいのだ。

「信念」とは素晴らしい計画が流れ込むように願って、すべてのものに心を開くことである。

信念は山々をも動かす。 積極思考こそ、この世で一番偉大なパワーである。

私たちは、内なる神から新しい考え方を教えていただくことによって、解放され、自由になる。

内なる神を信じる者は、冒険する勇気がみなぎり、決して失敗することはない。

信念の力に身をゆだねるとき、精神的活力、積極思考が生まれ、積極的活動の原動力となるのである。

〈MIKO〉

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より